

令和4年度北信越大会バドミントン競技 感染症対策ガイドライン

1 入場について

会場の人数を減らすため来場者、観客を以下のように制限する。

(1) 選手・監督・コーチ

- ・ 体育館への入室時に、手指の消毒、体温の計測を行い、学校同行者体調記録表（別紙2）を提出し入場する。体育館への入室時には、2日間とも学校同行者体調記録表（別紙2）を提出する。
- ・ 体育館内では原則、マスクを着用し、会場で会話をする際には、対面を避け、距離をとる。

◎個人戦（2日目）について

選手に加え団体メンバーは入場を許可する。個人戦（シングルス）のみ出場選手の練習相手は同県の出場選手とする。（申込書に氏名がない方の入場は認めない。）

(2) 保護者等

- ・ 選手1名につき保護者1名の入場を認める。応援生徒の入場は認めない。
- ・ 体育館への入室時に、手指の消毒、体温の計測を行い、来場者体調記録表（別紙3）を提出し入場する。体育館への入室時には、2日間とも学校同行者体調記録表（別紙3）を提出する。なお、複数人いる場合は集約表を使用しても構わない。
- ・ 会場の収容人数が少ないため、自チーム及び自選手が試合でないときは、なるべく会場外で待機すること。

2 会場について

- ・ 下駄箱は使用せずビニール袋に入れて各自管理する。
- ・ 観客席、フロアでの動線を固定する(原則一方通行)（別紙資料を参照）
- ・ 走路での運動は禁止する。
- ・ フロアへの入退場の際には手指消毒を必ず行う。
- ・ 会場内は、換気を適宜行う。（目安として、回戦が終了時など行いやすいときに行う。）
窓は、試合に支障のない程度開ける。但し、カーテンが風でなびかない程度とする。
- ・ 洗面所などでも唾や痰をはくことは極力行わずティッシュペーパーなどに包んでビニール袋などに入れ持ち帰る。
- ・ ゴミは、会場に置いていくことなく、持ち帰る。

3 選手について

- ・ 練習は、決められた時間・コートで行う。
- ・ 試合以外でも、移動や待機しているときも周囲の人となるべく距離をとる。（最低でも1mの間隔を空けることが望ましい。）
- ・ 運動時以外は、マスク着用を厳守する。（熱中症にも注意する。）
- ・ シャトルの受け渡しの際にラケットを使用し、極力手で触れないようにする。
- ・ 汗は床などに落とさずタオルを使用し拭きとる。（床の汗は、モップ等で拭きとる。自身のタオルを使用して拭かない。）

4 監督・コーチについて

- ・ゲーム間のアドバイスは、選手との距離をしっかりと保つことを原則とする。
- ・チェンジエングズではコーチングシートは移動しない。また使用後は設置する除菌セットで椅子を消毒すること。

5 応援について

- ・飛沫拡散防止のため、声援は認めない。拍手で応援する。
- ・移動してもよいが、指定された区間内とし手すりにつかまらず、座席には座らない。
- ・保護者は指定された座席、ゾーンでの応援とし選手のいる座席の方へは行かないようにする

6 試合について

開閉会式は実施しない。円陣やハイタッチも禁止する。

招集は行わず、試合に参加する監督・コーチ、選手は直接コートに集合する。

【団体戦】

コールされたらコートに直接集合し挨拶する。団体戦の選手用ベンチは距離をおいて設ける。またベンチに座ったら移動しない。使用後は除菌セットで消毒すること。

【個人戦】

コールされたらコートに直接集合する。

試合開始時、及び終了時の握手はしない。

ゲーム間の移動は、選手が重ならないように気を付けること。

7 使用するものについて

主審・線審の椅子、ポール、ネット、得点版は、逐次、消毒を行う。

トイレや更衣室については、密にならないように放送によるアナウンスで呼びかけを行う。

参考資料：新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン
(公益財団法人 日本バドミントン協会)